

市川麻衣

2024年9月から2024年6月末までの約10か月間、台湾留学を通じて様々な経験や成長ができた。

ここからは、

- ・留学を通じて得られた事
- ・キャリア形成にどう生かしていくのか

について経験やその思いを例に挙げながら述べる。

まず初めに、私が台湾留学を思い立ったのは、大学1年の秋学期頃である。最初は中国語については話者が多い、日本語と通ずるものがあるという理由で何となく選んだのだが、勉強を進めていくうちに日本語とは全く異なる発音方法、漢字のみで表現される言語の表現方法に、惹かれていった。自身の向上心と熱意が成績にも反映され、学んでいくうちに中国語をもっと自分のものにしたいと思うようになった。そんなとき、大学1年の秋学期に担当していた先生方から「留学に行ってみないか」というお話があった。また言語の動機以外にも、大学生活で、勉強とアルバイトの日々で終わらせるのではなく、何か一つ挑戦してみたい、そんな気持ちもあった。そこで、中国はコロナの関係で難しかったため、台湾への留学を決めた。留学の準備を進める中で

- ・語学力の向上
- ・自立をする
- ・内気な自分を変える

という三つの目標を立て、留学準備に励んだ。留学中でもこの三つは常に意識するようにし、改善に励んだ。

一つ目の語学力向上に関しては、授業外でも積極的に友達を作り話しかけ、出かけるようにした。日本語学科に所属していたので、お互いを高め合いながら、言語力向上に励んだ。また一日の終わりには中国語で日記を書き、その日分からなかった単語も復習して、中国語に触れる習慣を身につけた。そうすることで、留学前は教科書に載っていた簡単な文しか話せなかったが、留学後には友人とのコミュニケーションはスムーズにとれるようになり、この目標は達成できた。

二つ目の自立することにおいては、まず「自分でやってみる」をモットーに生活するようになっていた。私は台湾留学でインフルエンザやコロナウイルスにかかってしまったのだが、これは自立のいい機会だと捉え、まず一人で病院に行った。もちろん病気にまつわる専門用語はあまり分からなかったので、自分の症状を事前にメモしどのように伝えるかを意識した。また事前に録音もして聞き取れなかったことは何度も再生して理解に専念した。この経験のおかげで病気にかかった際も問題なく病院に行けるようになった。またそれとは別に、友人と遊びに行く際には自分から率先してお会計に行くように心がけ、失敗

を恐れずに目の前にあるチャンスと捉えて何度も挑戦するようにした。この経験から、自立力の成長は振り返るたびに実感することができ、2つ目の目標も達成できたと考えている。

三つ目の内気な自分を変えることについては、私は特に思ったことを言わずにため込み、意見を求められても周りに合わせてしまう部分があったので、自分の思っていることを口に出す習慣をつけるようにした。例えば友人と中国語で話しているときに分からない単語に出くわすことが何度もあった。以前の自分なら愛想笑いをして見逃してしまうが、思い切って聞き、また分からないことは「分からない」と口に出して伝えることで自分が思っていることを口に出す習慣を身につけるようにした。また授業では学生がグループに分かれて発表する機会が多々あるのだが、私は緊張しやすく自信を持って自分の言葉で発言することが苦手であったため、いつも原稿を見ながら発表していた。しかしこれではまっすぐ自分の思いが伝わらず悔しい思いをした。そこでパワーポイントは自分の伝えたいことが見てわかるように文章でまとめてから作った。また、人前で発表することにおいては事前に3人の友人に自身の発表を聞いてもらい、リハーサルを重ねた。その結果原稿を見ずに自分の言葉でなお中国語で発表することができた。この経験から私はグループや人前で自分の意見を発言することができるようになった。以上三つの目標を立て、留学中に意識しながら生活することで中国語の能力が向上しただけでなく、行動に起こすことで乗り越え自立に一步近づけた。

以上の経験から言語能力や自己成長を得ることができ、有意義な生活を送ることができた。

では、次に、この留学経験をキャリア形成にどのように生かして行くのかについて。先ほど述べたように、まずは一人でやってみるということを前提に生活していたのだが、やはりできなかったことや失敗も多々あった。そのようなときに先生方や友人の手助けは生活する上でとても支えになった。ここから私は台湾で助けてもらった分私も誰かの役に立ちたいという思いが強くなった。こうしたことから、就職活動では、社会貢献と大きく繋がる生活インフラ系の業界を中心に見て回っている。もともとは中国語も一緒に生かせたらと考えていたが、やはり自分の言語レベルは日常会話程度であり、ニュースについての議論や誰かと交渉できるような能力はなく、そのためこのビジネスの場で武器として使えるわけではなかった。現時点ではビジネスの場で中国語を活かすのは難しいと判断し、中国語は学習を続けていながらキャリアを積むことにした。将来においては日本の企業に勤めながら出張という形や駐在という形で日本のビジネスを台湾で生かし、貢献できないかと考えている。また、就活を3か月続け、マンション管理の業界やエネルギー業界の選考を受けてみて、日本の社会問題にもっと具体的にアプローチできるような仕事をしたいと思うようになった。例えば労働人口が減少している問題やニュースで保育バスの置き去

り事故が多発している問題、インフラが整っていない地域では免許返納ができない問題、農業の担い手が不足している問題など、こういった具体的な日本の社会問題に貢献して活躍できる仕事に就きたい。現在は、技術で便利になっていく時代で今後も必要不可欠になっていく自動車産業、半導体産業、AI産業を中心に見て回っており、人の力で補いきれないものに+α付け足すことで解決できないかと考えている。将来はこの基幹産業の経験を通して国際的な舞台でも活躍できるようなビジネスパーソンへと成長したい。

以上が留学経験とキャリア形成についての報告である。今回の留学は人生における大きな転機となり、この貴重な経験をくださった方々に心から感謝いたします。ありがとうございました。

